資料１

フットボールスタジアム検討協議会
第５回会議

令和８年10月30日　岡山県庁３階大会議室

次　第

1　開会

2　第４回会議の主な論点及び対応方針（案）について

3　「場所・立地の比較検証」について　※非公開

4　「場所・立地の比較検証」について（総括）　※公開

5　サッカースタジアム調査及び検討支援業務に係る中間報告

6　まとめ・事務連絡

7　閉会

第４回会議の主な論点及び対応方針（案）について

①　スタジアム計画により見込まれる効果等の一部修正

第４回会議で一部文言を修正の上、議論を進めることが決定された「スタジアム計画により見込まれる効果等」について、委員のご発言を踏まえ、次のとおり修正する。

◎「協議会の議論」に競技環境・観戦環境、子ども・高齢者の利用に関する記述を加筆

◎「県の計画等における方向性」に地域経済に関する記述を加筆

◎上記を踏まえ、「新設又は改修により見込まれる効果等」を加筆

②　スタジアムのありたい姿として想定されるパターンに係る整理

スタジアムのありたい姿として想定される複数のパターンについて整理し、場所・立地の比較検証ができる形で提示する。

③　フットボールスタジアム検討協議会の今後の進め方（ロードマップ）（案）の提示

第４回会議で了承された「スタジアムの実現可能性を検討するための論点」及び「実現可能性の取りまとめに向けた確認・検討事項」を踏まえ、第５回会議以降の主な議題及び検討事項をロードマップ（案）として示す。

スタジアム計画により見込まれる効果等の一部修正

施設の在り方検討

第４回会議資料
修正

- 検討の出発点として、**スタジアム計画により見込まれる効果等を整理**した。

⇒スタジアム計画は、**県民意見・ニーズやこれまでの議論、スポーツ立県おかやまの実現に向けた有用な手段となり得る。**

スタジアム計画により見込まれる効果等	県民意見・ニーズ	協議会の議論	県の計画等における方向性
■ 観戦機会を広げる快適なスポーツ拠点 観戦機会の拡充やスポーツの魅力発信により、県民がスポーツに触れる機会を広げる	◆ チケット不足を解消して観戦機会を広げてほしい ◆ 雨風をしのげる観戦環境にしてほしい ◆ 観客をより多く収容できる規模にしてほしい	➢ 将来、最も活用する子どもたちにとって、岡山の魅力を感じられるものとする必要 ➢ 行きたい人が観戦でき、新しい人を誘うことができる規模が必要 ➢ 競技環境・観戦環境の向上が必要	• 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出
■ 次世代を育む競技・育成拠点 プロ・アマチュアを問わない次世代を含めたアスリートを育成する	◆ 県内のスポーツ文化や機運を高めてほしい ◆ 次世代の選手や子どもたちの育成につなげてほしい ◆ 競技力や選手育成の向上につながることを期待	➢ アマチュア利用も含めたスポーツ振興の観点からもスタジアムの新設が重要	• アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築
■ 人を呼び、地域の活力と誇りを育む拠点 交流人口の増加や人口流出の抑制により地域を活性化させ、誇りを形成するとともに、交通インフラの見直しによる利便性の向上を図る	◆ 県外からの観光客や来訪者を増やす効果を期待 ◆ 大会やイベント誘致による集客効果を期待 ◆ 県民が誇れる岡山の象徴になることを期待	➢ スタジアムの本質的な価値は、シビックプライドの醸成等の社会的価値の創出にある ➢ 地域の文化、スポーツの拠点、象徴となるものを考える必要 ➢ もっと活気のある地域にとの県民の期待 ➢ スタジアム整備に伴う周辺交通への影響に対処が必要	• スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造 • トップクラブチーム等との連携による交流促進と地域経済の活性化
■ 誰もが集える開かれた多機能拠点 幅広い利用者の視点を考慮した、スポーツ施設の機能拡充と安全性向上により県民利用を促進する	◆ 災害時に役立つ防災拠点として整備してほしい ◆ 試合日以外も気軽に立ち寄れる開かれた施設にしてほしい ◆ 幅広い競技や用途に使える施設にしてほしい	➢ 50万筆の署名を踏まえた議論が必要 ➢ 複合機能化により幅広い層に魅力的な施設となる ➢ 多様な観戦の方法も組み合わせる必要 ➢ 子どもや高齢者を含めた幅広い利用者が安心・安全に使えることが重要	• スポーツ環境の整備
■ 官民連携で共創する持続可能な公共施設 需要に応じた施設規模・機能を確保するとともに、官民連携等により、長期的な財政合理化を図る	◆ 完成後の維持管理費や運営費が負担にならないか不安 ◆ 税金や公費を投入することには慎重であってほしい ◆ 民間資金をできるだけ活用してほしい	➢ スタジアムの整備はエリアマネジメントの考えが必要 ➢ 建設の是非だけでなく、多機能な活用や持続可能な運営とすることが重要	• 公共施設の長寿命化等を計画的に実施し、財政負担の軽減等を図る

フットボールスタジアム検討協議会の今後の進め方（ロードマップ）（案）

～第４回会議	第５回会議(10月)	第６回会議(12月)	第７回会議	第８回会議
【主な議題・検討事項】	【主な議題・検討事項】	【主な議題・検討事項】	【主な議題・検討事項】	【主な議題・検討事項】
プロセス・情報発信の検討	場所・立地の比較検証	施設の在り方検討	整備費の概算	提案内容（案）の確認
県民参画の在り方検討		社会的効果の検証	事業収支の概算	
施設の在り方検討		経済的効果の検証	事業スキーム検討	
事業スキーム検討			提案内容（素案）の検討	
【調査委託業務関係】	【調査委託業務関係】	【調査委託業務関係】	【調査委託業務関係】	【調査委託業務関係】
	中間報告			最終報告

＜特記事項＞

・第５回会議で行う「場所・立地の比較検証」の結論が、第６回以降の前提条件となるため、議論の進捗に応じて、柔軟な対応が必要。また、第６回以降も非公開で行うことがある。

場所・立地の比較検証（概要）

スタジアム	No.	民有地・ 公有地の別	交通アクセス （※在来線、普通列車を利用）	区域区分
A まちなか型	01	民有地	JR岡山駅から徒歩約10分	市街化区域
B 郊外型	02	民有地	JR北長瀬駅から徒歩約10分（JR岡山駅からJR北長瀬駅まで約５分）	市街化調整区域
	03	民有地	JR新倉敷駅から徒歩約15分（JR岡山駅からJR新倉敷駅まで約25分）	市街化調整区域
	04	民有地	JR早島駅から徒歩約５分（JR岡山駅からJR早島駅まで約15分）	市街化調整区域
	05	民有地	JR倉敷駅から徒歩約30分（JR岡山駅からJR倉敷駅まで約15分）	市街化区域
A まちなか型 ＋ C スポーツパーク型	06	公有地	JR岡山駅から徒歩約20分	市街化区域
	07	公有地	JR岡山駅から徒歩約20分	市街化区域
	08	公有地	JR北長瀬駅から徒歩約10分（JR岡山駅からJR北長瀬駅まで約５分）	市街化区域
B 郊外型 ＋ C スポーツパーク型	09	公有地	JR中庄駅から徒歩約20分（JR岡山駅からJR中庄駅まで約10分）	市街化調整区域
	10	公有地	岡山市中心部からバスで約２時間	非線引都市計画区域
D 現スタジアム改修型	11	公有地	JR岡山駅から徒歩約20分	市街化区域

※場所・立地については、県民アンケート調査等によるものであり、土地所有者、関係自治体等と未調整のため、特定できない記載内容としている。

次回開催予定

第６回会議

- 開催日　　：令和８年12月17日（木）
- 開催場所：岡山県庁３階大会議室